

防災・減災、国土強靱化の推進及び道路ネットワークの整備推進を求める意見書

当町は、近畿地方と北陸地方を結ぶ日本海側唯一の幹線国道である国道27号を有し、京都府の丹波地域と福井県の嶺南地域の架け橋としての役割を果たしている。また、日本海側を東西に結ぶ舞鶴若狭自動車道を有し、太平洋側・日本海側双方の交通ネットワークの確保という国土全体の複軸化に関しても重要な地域である。更に、当町は原子力発電所所在の町として、わが国の経済社会の維持、発展にエネルギー供給地として重要な役割を果たしている。

国道27号は、これまで、台風、豪雨、豪雪等により一時的に通行不能となることがあり、特に県境の青葉トンネルについては、断面が小さく大型車の通行に支障があるなどの課題を有している。また、舞鶴若狭自動車道は、町内はじめ福井県内に2車線区間が存在し、対面通行区間における事故の発生や災害時等の通行止め等の課題を有している。更に、原子力事故発生時における迅速な初動と事故の制圧等を行うための道路の多重化や防災機能強化は未だ十分ではない。その中で、わが国全体でも、気候変動の影響から大規模自然災害の激甚化・頻発化が続いており、防災・減災、国土強靱化は、引き続き、喫緊かつ重要な課題である。

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により個別箇所の対策が進んだが、国土全体、広域的な視点から防災・減災、国土強靱化を進めていくためには、広域的な道路ネットワークの強化が極めて重要である。今後、道路ネットワークの整備等にも対象事業を拡充した新たな5か年計画を策定し、防災・減災、国土強靱化を強力に進めていく必要がある。

以上のことから、国においては、次の事項に特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に続き、次の事業も含めた5か年計画の策定及び必要な予算の確保
 - ・ 平時・災害時の安定的な人流・物流の確保や原子力防災対策を考慮した、舞鶴若狭自動車道等の4車線化や国道27号青葉トンネルのバイパス整備等の道路ネットワークの多重化
 - ・ 予防保全への転換に向けた社会資本の老朽化対策

- 2 新型コロナウイルスの感染拡大からの地域経済の早期復興のため、景気の下支えや雇用創出に繋がる公共事業を含めた経済対策を講じること。その際、物流・観光等の経済活動復興や分散型の国土利用のための道路ネットワークの整備を早急に進めること。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和 2 年 1 2 月 1 5 日

福井県高浜町議会

内閣総理大臣	菅	義偉	殿
財務大臣	麻生	太郎	殿
総務大臣	武田	良太	殿
国土交通大臣	赤羽	一嘉	殿
国土強靱化担当大臣			
	小此木	八郎	殿
衆議院議長	大島	理森	殿
参議院議長	山東	昭子	殿